



Sapporo Gakuin University

# 学園広報

2012.2.20 No.111

編集・発行  
札幌学院大学 広報課

〒069-8555 北海道江別市文京台11番地  
電話(011)386-8111 http://www.sgu.ac.jp



ACCREDITED  
2006.4-2015.3

## 社会情報学部開設二十周年

### — 学生と共に歩んだ二十年 —

社会情報学部長 森田 彦



この二十年はまさに学生と共に歩んで来た二十年です。さて、情報化社会に積極的に貢献できる人材の育成を目指して設立された社会情報学部ですが、開設時の世に出る前でした。その後、インターネットの普及や分野の形成と同時にその教育を展開するという事業に学部一丸となって取り組む、本年で二十周年を迎えることができました。開設当初は、唯一の社会情報学部として孤軍奮闘状態が続きましたが、やがて幾つかの大学で社会情報学部が設立され、また、一九九六年に日本社会情報学会が設立されるに至って、全

「震災を乗り越える社会情報学」(http://www.jispeim.tv/user/MediaNet/videos)が「北海道」を乗り越える社会情報学」と題し、東日本大震災とこれに続く原子力発電所の事故を受け「社会情報学」という学問がどのように立ち向かい乗り越えられるのかを問いました。四名のシンポジストを迎え、震災で露わになった問題を多角的に議論しました。シンポジストの前はシンポジストからの講演、後半は本学の教員を加えた議論が行われました。当日は約二百名の参加があり、同時に「L@rdnet」にて生中継され、インターネット上でもアーカイブされています。

この二十年はまさに学生と共に歩んで来た二十年です。さて、情報化社会に積極的に貢献できる人材の育成を目指して設立された社会情報学部ですが、開設時の世に出る前でした。その後、インターネットの普及や分野の形成と同時にその教育を展開するという事業に学部一丸となって取り組む、本年で二十周年を迎えることができました。開設当初は、唯一の社会情報学部として孤軍奮闘状態が続きましたが、やがて幾つかの大学で社会情報学部が設立され、また、一九九六年に日本社会情報学会が設立されるに至って、全

## 小学校等教員採用試験 17名合格

人文学部こども発達学科設置の小学校教職課程で、四年生が教員採用試験に挑戦したのは、今年度で三回目です。昨年度に、小学校と特別支援学校を合わせて、現役合格者十四名(第一期生と第二期生、既卒合格者九名、第一期生の計二十一名が合格し、道内道外で採用教員として活躍しています。そして、今年度は、四年生(第一期生)と卒業生を合わせた十七名、

合格者九名(第一期生)の内、道内道外で採用教員として活躍しています。そして、今年度は、四年生(第一期生)と卒業生を合わせた十七名、

合格者九名(第一期生)の内、道内道外で採用教員として活躍しています。そして、今年度は、四年生(第一期生)と卒業生を合わせた十七名、

合格者九名(第一期生)の内、道内道外で採用教員として活躍しています。そして、今年度は、四年生(第一期生)と卒業生を合わせた十七名、

合格者九名(第一期生)の内、道内道外で採用教員として活躍しています。そして、今年度は、四年生(第一期生)と卒業生を合わせた十七名、

合格者九名(第一期生)の内、道内道外で採用教員として活躍しています。そして、今年度は、四年生(第一期生)と卒業生を合わせた十七名、

合格者九名(第一期生)の内、道内道外で採用教員として活躍しています。そして、今年度は、四年生(第一期生)と卒業生を合わせた十七名、

合格者九名(第一期生)の内、道内道外で採用教員として活躍しています。そして、今年度は、四年生(第一期生)と卒業生を合わせた十七名、

合格者九名(第一期生)の内、道内道外で採用教員として活躍しています。そして、今年度は、四年生(第一期生)と卒業生を合わせた十七名、

## 被災地で本当に必要な物を届けたい

第四十一回札幌学院大学学祭「鳴秋祭」では、北海道札幌学院大学の協力を得て、被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。

被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。

被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。

被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。

被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。

被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。

被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。

被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。

被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。被災地の様子を伝える写真展を開催しました。

### 2011年度「臨床心理士資格試験」八名が合格

臨床心理学研究科は財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する指定大学院として、二〇一一年度の修了生十五名(直近の修了生一名、過年度の修了生五名)が受験しましたが、このたび指定継続を申請し、二〇一八年三月までの継続が決まりました。

### 第4回オープンキャンパス開催

来る三月二十日(火)祝にガクインのスタッフが丁寧な対応をします。また、保護者を対象とした保護者向けガイダンスも実施しますので、親子でお気軽に参加下さい。今度もJR「札幌駅」および「新さっぽろ駅」の地下鉄からも参加できるよう道内各地へルートから「無料送迎バス」を運行します。札幌市内を一望できる眺めのいい場所での「無料食体験」もあり、一足早く大学生になった気分が充実した一日を過ごせるでしょう。皆さまのご参加をスタッフ一同心よりお待ちしております。

### 教職員人事

◎異動  
平成十四年一月十日付  
▼学生課(総合政策部長付) 特命課長 高橋 晃治

### 2012年度 大学行事等予定

【前期】  
4月 3日(火) 入学式  
4日(水)~5日(木) 新入生ガイダンス  
6日(金)~7日(土) 新入生ガイダンス  
9日(月) 新入生健康診断  
10日(火) 在学生ガイダンス(2-4年)  
11日(水) 在学生ガイダンス(3年)  
12日(木) 在学生健康診断(3-4年)  
12日(木) 前期授業開始  
5月 4日(金) 開学記念日  
6月15日(金) 学園創立記念日  
24日(日) オープンキャンパス  
7月 7日(土) 保護者懇談会(帯広)  
8日(日) 保護者懇談会(釧路)  
29日(日) オープンキャンパス  
8月 2日(木)~8日(水) 前期定期試験  
20日(月)~25日(土) 夏期集中講義期間(前期科目)  
9月 8日(土) 保護者懇談会(苫小牧)  
9日(日) 保護者懇談会(函館)  
【後期】  
9月10日(月)~15日(土) 秋期集中講義期間(後期科目)  
24日(月) 後期授業開始  
27日(木) 前期末学位記授与式  
30日(日) オープンキャンパス  
10月 6日(土)~8日(月) 大学祭  
20日(土) 保護者懇談会(本学)  
11月24日(土)~25日(日) 推薦入試  
1月19日(土)~20日(日) 大学入試センター試験  
28日(月)~2月2日(土) 後期定期試験  
2月 7日(木)~8日(金) 一般入学試験A  
3月 1日(金) 卒業・進級発表  
19日(火) 学位記授与式  
20日(水) オープンキャンパス

### 募金の協力に深く感謝申し上げます

平成二十三年九月一日から平成二十三年十二月三十一日までの報告  
敬称略・順不同  
伊藤 清 大井 隆司 福岡 和司  
大弓 俊郎 奥村 義典 高橋 好治  
小田山 淑子 甲斐 陽輔 宮島 由光  
片川 芳則 川島 重信 森田 光雄  
川島 幹雄 グロウズ 渡辺 真雄  
チーム 久保 昭治 渡辺 裕哉  
【北大・16集合会報告集】  
編集委員会

酒井 忠真 坂本 良二 杉山 吉弘  
高橋 亨 辻 智子 土淵美知子 富井 清美  
中井 征夫 中村 長岡 正  
中原 吉則 中村 敏彦  
中本 昌伸 中山 周治  
福岡 和司 廣川 広嶋  
田中 好治 古畑 三上  
酒井 忠真 坂本 良二 杉山 吉弘  
高橋 亨 辻 智子 土淵美知子 富井 清美  
中井 征夫 中村 長岡 正  
中原 吉則 中村 敏彦  
中本 昌伸 中山 周治  
福岡 和司 廣川 広嶋  
田中 好治 古畑 三上  
酒井 忠真 坂本 良二 杉山 吉弘  
高橋 亨 辻 智子 土淵美知子 富井 清美  
中井 征夫 中村 長岡 正  
中原 吉則 中村 敏彦  
中本 昌伸 中山 周治  
福岡 和司 廣川 広嶋  
田中 好治 古畑 三上



# Seminar

わたしたちの ●ゼミ紹介します!  
@SGU vol.12

## 英語英米文学科「専門ゼミナールB」

水島 梨紗 人文学部 講師

当専門ゼミナールでは、外国語(主に英語)によるコミュニケーション能力を高める際、必要知識について、ことは自体だけではなく、社会・文化的な側面から総合的に学び、考えることを目的としています。



全員で集合



みんなでディスカッションし合います



明るい笑顔が絶えません

近年、外国語教育の分野では、「実践的なコミュニケーション能力」の養成がますます求められるようになってきました。中学校や高校で学ぶ外国語は、その大部分が入学試験をターゲットとしたものであり、語彙や文法といった側面が重視されがちですが、それらが必要とする実際の会話力に結びついていないという問題意識の表れでしょう。

外国語を使ってコミュニケーションを行う際、文法や発音以上に気をつけなければならぬのが、「そのことばをどのように使うか」という点です。同じ内容を行われたタイフードフェアでは、タイ独自のスパイスを持ち込み、生鮮食品などはフェア当日にスーパーで買い、午前中いっぱいかけて心を込めてタイ料理を作りました。できあがった五百食ほどのグリーンカレーやエロカレーは大学生協前にブースを設けて本学学生に無料で振る舞われ、「美味しー!」とほっと共に笑顔の輪が広がりました。

短期間ではありましたが、本学の学生は企画のすべてにおいてCMUの学生と行動を共にし、生活体験を通じて会話を重ねお互いの文化を理解しあい、何にも替えがたい友情と絆が生まれました。この絆をぜひいつまでも持ち続けていてほしいと願っています。



「日本人の物の言い方は婉曲的なのに対し、欧米諸国の人々は直接的である」と、自身に書かれていたことを基に、自身の経験についてディスカッションをしたりすること、互いに認識を改めることも少なくありません。また、先行研究から知識を得るだけでなく、ゼミ生自身によるフィールドワークも予定されており、それらの企画や分析といったプロセスが、新たなコミュニケーション能力の向上につながることを望まれます。

このように、ゼミナールの内容はやや専門的ですが、ゼミ内の雰囲気は非常に和やかで、活気があります。ここで得た相互的な学習を通して、各自が実社会で成長していくための礎を築くことを期待しています。

二〇〇九年に始まったタイ・チェンマイ大学(CMU)との異文化交流プログラムは、今回で三回目を迎えました。学生九名、引率教職員四名の合計十三名が十一月二十八日から十二月五日までの八日間の日程で本学に来学しました。本学からは二十名を超える学生サポーターが企画の手伝いを行いました。

SGUの学生と共に英語の授業に参加してタイの文化を紹介するスピーチもしてもらいました。日本とタイの文化比較を題材にした意見交換を通じて本学学生は大いに学習意欲を刺激されました。その他に今年も大盛況だったのが、十二月

一日に行われたタイフードフェアです。タイ独自のスパイスを持ち込み、生鮮食品などはフェア当日にスーパーで買い、午前中いっぱいかけて心を込めてタイ料理を作りました。できあがった五百食ほどのグリーンカレーやエロカレーは大学生協前にブースを設けて本学学生に無料で振る舞われ、「美味しー!」とほっと共に笑顔の輪が広がりました。

短期間ではありましたが、本学の学生は企画のすべてにおいてCMUの学生と行動を共にし、生活体験を通じて会話を重ねお互いの文化を理解しあい、何にも替えがたい友情と絆が生まれました。この絆をぜひいつまでも持ち続けていてほしいと願っています。

### 異文化交流

## タイ・チェンマイ大学との異文化交流プログラムが開催されました



札幌学院大学生協では新たなSGUグッズを文房具から衣料品まで多岐にわたり販売しています。まずはエコバッグ380円(左写真)。青・赤・緑・桃の4色から選べます。普段は折りたたんで持ち運び可能です。

そして色紙250円・A4ノート200円(右写真)。色紙はこれからのシーズンにぴったりです。こちらの色紙に寄せ書きをして恩師に贈るのはいかがでしょうか?一緒に学生時代を過ごした仲間にも贈るのも良いかもしれません。

他にもキャップ1,000円 Tシャツ1,350円(サイズはM・L)・タオルマフラー600円・ミニタオル300円なども取り扱っております。郵送でもお買い求めに承りますので、お気軽にお電話でお問い合わせ下さい。(札幌学院大学生協 011-386-2970)



## 大学生協

### 新グッズ紹介します



情報機器の活動等について発表を行いました。サポートデスクとは学生スタッフからなる組織で、日ごろは学生や教職員からのPCリ活用に関する様々な相談やトラブルに対応しております。私は「学生によるICTリ活用支援の試み―業務改善に関する一考察―」をテーマに、「サポートデスク設置時時から、現在の業務内容や協働体制に至るまでの経緯を業務改善としてまとめ、発表しました。この分科会にはプレゼンテーション技能が特に優れている発表者が「プレゼンテーションスキル賞」が用意されており、今年度は私が受賞することができました。今回得ることができたこのサポートデスクの活動に活かしていければと思います。サポートデスクスタッフ 大道寺沙理

### サポートデスク 学生スタッフ プレゼンテーションスキル賞受賞!

情報機器の活動等について発表を行いました。サポートデスクとは学生スタッフからなる組織で、日ごろは学生や教職員からのPCリ活用に関する様々な相談やトラブルに対応しております。私は「学生によるICTリ活用支援の試み―業務改善に関する一考察―」をテーマに、「サポートデスク設置時時から、現在の業務内容や協働体制に至るまでの経緯を業務改善としてまとめ、発表しました。この分科会にはプレゼンテーション技能が特に優れている発表者が「プレゼンテーションスキル賞」が用意されており、今年度は私が受賞することができました。今回得ることができたこのサポートデスクの活動に活かしていければと思います。サポートデスクスタッフ 大道寺沙理

## BOOK REVIEW 教員著書紹介

### 「韓国政治と市民社会 金大中・盧武鉉の10年」

清水 敏行 (法学部 教授) 著  
北海道大学出版会  
2011年3月31日発行 価格: 6300円

### 「戦略的協働の本質 ―NPO、政府、企業の価値創造」

小島 廣光 (経営学部 教授) 著  
平本 健太 (北海道大学 教授) 編著  
有斐閣  
2011年5月発行 価格: 4725円

### 「戦略的協働の本質」

小島 廣光 著  
有斐閣 発行

### 「特別支援教育コーディネーター 必携ハンドブック」

二通 諭 (人文学部 准教授) 他編著  
クリエイティブかもがわ  
2011年5月発行 価格: 2940円

### 特別支援教育 コーディネーター 必携ハンドブック

本書では、1987年の民主化以降、とくに金大中政権・盧武鉉政権(1998~2008年)の10年間における政府・政党と市民社会の相互作用に焦点をあてて、韓国政治の動態を明らかにしました。この時期に市民社会と政治の距離はとて近くなり、市民団体の役員が政府の高官に、また政府の委員会に入ることが急増しました。本書はそれを数量化して示しました。また2000年の落選運動は日本でも注目されましたが、当時の金大中大統領による多数派形成の政治との関連性が見られました。金大中大統領は全羅道政権としての地域主義的な制約を、市民社会の政治化によって克服しようとした。韓国では市民社会の政治化は政党の支持再編と絡んでおり、市民社会と地域主義は表と裏の関係にあるとも言えます。この点は、金大中政権を引き継いだ盧武鉉政権にも言えます。本書は、以上の点を実証的に、また概念的に考察しようとしたものです。

本書は、NPO、政府、企業という異なるセクターに属する3つの主体の協働によって、新しい多元的な社会的価値の創出に成功している7つの先駆的な協働プロジェクトを詳細に分析することによって、戦略的協働が形成・実現・展開されるプロセスの解明を試みたものである。7つの協働プロジェクトは、「ジャパン・プラットフォーム」、「北海道グリーンファンド」等である。分析は、「協働の窓モデル」にもとづいて行われた。具体的には、個々の協働プロジェクトの全期間をそれぞれ4期に区分し、各期における「協働プロジェクトにおける参加者の行動とその相互関係」がきわめて詳細に検討された。研究結果は、戦略的協働の本質をあらわす18の命題として提示されている。本書が、わが国における戦略的協働の研究の一助となるとともに、協働の形成・実現・展開に対して何らかの具体的かつ実践的指針を与えることができるならば、これに勝る喜びはない。

2007年4月1日をもって、「特殊教育」が「特別支援教育」へと移行しましたが、このことにともない、各学校では発達障害等の子どものための教育的ニーズに応える際の調整役として、校長によって校内コーディネーターが指名されることになりました。学校の教員なら誰もがコーディネーターになる可能性ができたのですが、何をどうすべきか皆目見当がつかないというのであれば、教育的支援に遅れを生じさせます。本書は、コーディネーターの任につく教員にとっては、有力なガイドブックになります。コーディネーターの役割や実際の動き方について詳述されていますし、「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」の作成等についての記述は、はじめの一歩を踏み出す教員には心強い情報と言えるでしょう。また、特別支援教育をめぐる制度の変遷や障害の説明、各種シートのフォーマットなどを付録のCD-ROMに収めているあたりが本書のサービス精神を物語っています。

自殺予防対策講演会

自殺のない「生き心地のよい社会」が実現されました

去る十月二十九日(土)、本学G館(五十年記念館)SGUホールにおいて自殺予防対策講演会が開催された。この企画は、江別市教育委員会が国の「住生活生活に光をそそぐ交付事業」を受けて、江別市市民向けに自殺予防対策事業として、本学精神保健福祉担当が協力して実施された。...

卒業生この人ー コミュニケーションを助け「人生成功の武器」に

戸根谷 法雄さん (1973年3月 札幌短期大学卒業、2007年3月 札幌学院大学地域社会マネジメント研究科修了)



解することによって一人称であった経験が理論武装された、職場における人財教育に多いに役立つと思っております。...



勤務先での様子



講義中の戸根谷さん

「一年目は仕事と学びの切り替えに苦労しましたが、経験が活かされました。これからの「学び」に活用できました。自己の経験を理論化する作業は大きに言える様にストレートに浸透していき、感覚があります。...

二〇一一年度 ふるさと江別塾が 本学で開催されました

ふるさと江別塾は、江別市教育委員会と市内四大学が共同で「ふるさと」の資源を市民に還元し、学習の機会を提供することを目的として、今年度、例年一月から二月にかけて四大学が超える市民の皆さんの参加を得て実施されました。...



「高齢者の積極的な健康づくりと地域社会について」



「DIYのまちづくり」

教職をStep1学生交流会が開催されました

二〇一一年十一月二十四日に本学G館八階にて「教職をめざす学生交流会」を開催いたしました。本学では、高倍率の狭き門を突破した教員採用検査合格者の合格を大学全体の取り組みの成果として祝い、どのように同級生と切磋琢磨し、また様々な教員等の支援を受けながら学生生活の充実をさせてきたのか、その様子を教員採用検査合格者から後輩など教員志望学生に対してメッセージとして届け、あわせて教員採用検査受検に関する情報交換を行う場として昨年度から「教職をめざす学生交流会」を開催し、...



Step1学生交流会の様子

札幌学院大学「図書館大賞」 異例の一席三名に

日頃から本に慣れ親しんでらう事、読書意欲や思考力・表現力の涵養を目的として、学部生・大学院生を対象に「みんなに紹介したいオスス本やイチオシ本の紹介文」二千五百字以内を募集し、心に響く「どう」とくる作品を書いた方に「図書館大賞」を授与し、図書カードを進呈してまいります。...

- 第3回「図書館大賞」受賞(一席):3名
松本みなみ(文学部臨床心理学科4年)
推薦図書:「グイン・サーガ」 栗本 篤著(早川書房)
酒井 信幸(文学部人間科学科2年)
推薦図書:「Another」 綾辻 行人著(角川書店)
増田 拓成(文学部人間科学科1年)
推薦図書:「ゴールデンズナンバー」 伊坂幸太郎著(新潮社)



左から右へ松本みなみさん、酒井信幸さん、増田拓成さん、図書館長、小杉向か

一年の活動を振り返る「学生広報」

「ザ・SGU」(大学案内)冊子、第1号は、創刊号よりも早い時期にオープン。キャンパス等に配布する事を目標としていたのですが、実際のところ制作時期は短く、締め切りが迫られていた。...



この1年の作品の一部。 ※左下ティッシュは非売品です。



ザ・SGU第3号の企画案を考えるメンバー達



12号線沿い看板のデザインもみんなで意見を出し合います